

TAC

2028年合格目標 司法書士講座

受講ガイド

【初学者対象コース】

SHIHO-SHOSHI LAWYER

これはTAC/Wセミナー司法書士講座における「初学者対象コース」（入門総合本科生）の「講座別受講ガイド」です。

TACの利用方法につきましては、対となる別冊「TAC利用ガイド」をご活用ください。

司法書士本試験について



必ずご確認ください

司法書士筆記本試験は、毎年1回、例年7月の第1日曜日に実施されます。本試験の流れにつきましては、例年の日程を参考にいたしまして下記にご案内いたしますが、変更となる場合（例：2020年度は10月に延期されました）もございますので予めご承知おきください。

なお、TACでは受験申込の代行は行っておりません。受験申込手続は、必ず皆様方ご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。

◎受験申請書の配付	例年4月上旬～5月中旬（2025年度参考） 受験申請書は 法務局または地方法務局館内 にて交付。 法務局または地方法務局へ郵送で請求 することも可能。 ※法務局・地方法務局の所在地等は法務局ウェブサイト参照。 法務局 https://houmukyoku.moj.go.jp/homu/static/index.html ※受験要項は例年4月上旬に法務省ウェブサイトにて発表。 法務省 https://www.moj.go.jp/
◎受験申込受付	例年 5月上旬～中旬の2週間程度 （2025年度参考） 直接持参あるいは郵送により、 試験場の所在地(受験地)を管轄する法務局または地方法務局 の総務課へ提出。
◎受験料	8,000円（収入印紙で納付）（2025年度参考）
◎受験資格	制限なし（2025年度参考）
◎筆記試験日	例年 7月の第1日曜日 （2025年度参考）
◎筆記・択一式基準点発表	例年8月中旬（2025年度参考）
◎筆記・合格者等の発表	例年10月上旬（2025年度参考） ・法務省ウェブサイトにて合格者の受験番号を掲載 ・受験地管轄法務局・地方法務局にて合格者の受験番号を掲示。 ※筆記試験合格通知（郵送）は、口述試験受験票を兼ねる。
◎口述試験日	例年10月中旬（2025年度参考）
◎最終合格者の発表	受験番号の掲載：例年11月上旬（2025年度参考） ・法務省ウェブサイトにて合格者の受験番号を掲載。 ・受験地管轄法務局・地方法務局にて合格者の受験番号を掲示。 受験者氏名の公告：例年11月下旬（2025年度参考） 官報へ受験番号及び氏名を掲載。

■司法書士試験に関する詳細は下記へお問い合わせください。

法務局・地方法務局（所在地・問合せ先は局により異なります。各局のウェブサイトをご参照ください。）

法務局ウェブサイトアドレス <https://houmukyoku.moj.go.jp/homu/static/>

はじめに

この度は、TAC司法書士講座をご受講いただきまして誠にありがとうございます。

本書は、当講座を受講される方のため教材や各種フォロー サービス等に関するご案内をまとめた『講座別 受講ガイド』です。別途お渡ししております『TAC利用ガイド』と併せてご覧ください。また、受講終了までご利用いただくものとなりますので、大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

TACは合格のために必要な知識や受験テクニックを受講生の皆様に効率よく提供することにより、短期間で合格していただくことを第一の目的と考えております。したがって、本書はこれから司法書士試験合格を目指すにあたり、受講生の皆様にどのように当講座を利用していただくか、その効果的な活用方法を項目ごとに要約しております。

皆様が合格を勝ち取られますよう、TAC司法書士講座の講師・スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

TAC司法書士講座

司法書士 初学者対象コース 受講ガイド

CONTENTS

通学メディア・通信メディア共通編

- | | |
|-------------------|------|
| 1. 会員証について | P 4 |
| 2. 講義・教材について | P 6 |
| 3. 演習・答練について | P 9 |
| ★「答練」・「演習」の受講について | P 11 |
| 4. 公開模試について | P 17 |
| 5. 質問・相談について | P 18 |
| 6. 各種フォロー・サービス対応表 | P 20 |
| 7. 各種サービス提供期限一覧 | P 22 |
| 8. その他 | P 23 |

ビデオブース講座編

- | | |
|----------------------|------|
| 1. 答練等の受講、答案の採点および成績 | P 26 |
| 2. 答練・演習の教室振替について | P 27 |
| 3. もう一度講義を受講したい場合 | P 28 |

通信メディア編

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 教材発送について | P 30 |
| 2. 答案添削の流れ | P 31 |
| 3. 学習サポート 【通学・通信共通】 | P 33 |
| 4. スクーリング | P 34 |
- ※ 「3」の「学習サポート」は、通学メディアの方もご利用いただけます。

オリエンテーション編

- | | |
|----------------|------|
| 1. 六法・過去問集について | P 36 |
|----------------|------|

巻末

1. NEXT 割引
2. お問い合わせ先一覧
3. TAC MAP

マイページ登録について

TAC WEB SCHOOL マイページは、すべての受講生の皆様に登録していただく必要がございます。

登録をまだ行われていない場合は、
[<https://portal.tac-school.co.jp>]
から→[ログインページへ]→[マイ
ページ登録] と進み、画面の案内に
従って登録を完了させてください。



以下については別冊「TAC利用ガイド」
またはTAC WEB SCHOOL をご覧ください。

通学メディア・通信メディア共通編

1. TAC利用上の注意事項
2. 講座開始日と受講期間
3. 会員証について
4. TAC WEB SCHOOL について
5. 施設利用上の注意事項
6. 自習室について
7. 日程変更について
8. 災害時の対応・行動
9. 教材を紛失した場合
10. 住所等を変更される場合 ※
11. 在籍証明書・履修証明書について

教室講座・ビデオブース講座編

1. 教室講座受講上の諸注意
2. 欠席した場合の教材受け取り
3. ビデオブース講座受講上の諸注意
4. ビデオブース利用方法

通信メディア編

1. 教室講座受講上の諸注意
2. 欠席した場合の教材受け取り
3. ビデオブース講座受講上の諸注意
4. ビデオブース利用方法

※住所等を変更される際にご提出いただく「変更届出書」は「TAC 利用ガイド」巻末に収録しています。

通学メディア・通信メディア

共通編

- ・ TAC提携校での各種サービス等は、TAC直営校と異なる場合がございます。詳しくは各TAC提携校へお問い合わせください。
- ・ Webフォローをご利用の際は、TAC WEB SCHOOLへログインして「よくある質問」や「ヘルプ」をご覧ください。また、「TAC利用ガイド」（「通信メディア編」の② TAC WEB SCHOOL 利用方法）をご参照ください。
- ・ 「本試験」とは、2028年7月の司法書士筆記本試験を指します。

1 会員証について

TAC受講生となった方には、「会員証」を発行いたします。会員証はお申込み手続き終了後、各校窓口でお渡しします。郵送申込の場合は、ご自宅に郵送します。

e受付でお申し込みの場合、通学講座の場合は各校窓口でお渡しします。通信講座の場合はe受付のマイページにe会員証を表示します。

※e会員証ではTAC各校舎でのサービスを受けることができません。受付窓口にて会員証の発行を受けてください。

会員証は、TACの受講生であることを証明する大切なものです。TACご利用の際には、常に携帯していただき、以下の注意事項を遵守してください。

1. 会員証について

- (1) 会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
- (2) 会員証を紛失した場合には、受付窓口にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおりに出席したものとして扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします。
- (3) 会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の3倍の料金を申し受けます。
- (4) 会員証に表示されている有効期限を過ぎると講義の受講、教材の受取、フォロー制度や自習室の利用は一切できません。

2. 会員証はこのような場面で使用します

- (1) 教室講義への出席時やビデオブースを利用する時は、会員証を提示してください。
教室で講義を受ける時は、会員証は必ず机の上に出しておいてください。講師・スタッフが専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います（通信メディアの方がスクーリングを利用する際も同様です）。
ビデオブースを利用する場合には、視聴前に受付に会員証を提示し教材をお受け取りください。

※もし会員証を忘れてしまったら…

講義を受ける前に、受付にて「仮受講証」の交付を受けてください。

「仮受講証」の交付がない場合には、講義の受講ができません。

- (2) 教材を受け取る際には、会員証を提示してください。テキスト等使用教材につきましては、受付にてお渡しします。
- (3) クラス振替出席フォロー・クラス重複出席フォローをご利用の際は、会員証をお持ちください。専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。

(4) 自習室利用の際にも会員証を携帯してください。スタッフが会員証の確認・スキャンを行う場合があります。

また、お申込みのコースによっては自習室をご利用できない場合があります。詳しくは、『TAC利用ガイド』の通学メディア・通信メディア共通編「6. 自習室について」をご確認ください。

3. 会員証の有効期限

(1) 会員証には、有効期限が表示されています。TACサービスのご利用は、すべて有効期限内に完了してください。また、自習室のご利用も有効期限内となります。

(2) 会員証の有効期限を過ぎた場合には、教材の受け取りなど「該当する目標年度の各種サービス」のご利用は一切できなくなりますのでご注意ください。

(3) 会員証の有効期限は、TACサービスの利用期限となります。受講契約の解約・返金時に算定の基礎となる受講期間とは異なりますのでご注意ください。

4. 会員証の書替手続き

お申込みの講座・登録コースによっては、会員証の書替手続き（模擬試験の受験票発行など）が必要となる場合があります。詳しくは専用の案内書をご確認いただくか、受付窓口にてご確認ください。

5. 会員証を紛失した場合

(1) 受付窓口で再発行いたします。その際、①「身分証明書（運転免許証など）」②「証明写真（3cm×2.4cm。紛失した会員証の枚数+1枚）」③「印鑑」をご用意ください。

(2) 再発行の際は、再発行手数料［会員証1枚につき500円（税込）］がかかります。

(3) 再発行日以前の講義は欠席分を含めて、登録コースの日程表どおりに出席したものととして扱い、教材はお渡し済みとして処理いたします。

また、各講座の無料再受講制度についてはご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

(4) 再発行会員証のお渡しは申請書受取日から原則3日後となります。

2 講義・教材について

ここでは、「講義一覧」と「コース別配付教材一覧」を合わせてご案内いたします。

<表の見方>

入門総合本科生		コース (本科生)				使用教材		
●印のあるものが該当コースに含まれる「対象講義」(および配付教材)です。		2 年 本 科 生	20 カ 月 本 科 生	1.5 年 本 科 生	1 年 本 科 生	【※すべて内部教材。市販本なし】 ・コース前半の「基礎マスター」とコース後半の「択一式対策講座【理論編】」では、択一式対策につき共通の教材を使用します。教材の名称が「基礎マスター・択一式対策講座【理論編】テキスト」となっているのはこのためです。		
		講義・科目	回数	234回	213回		213回	213回
オリエンテーション		1回	●	●	●	●	(配付教材なし)	
入門講義		8回	●	●	●	●	入門講義 テキスト	
先行 基礎マスター	民法	21回	●				基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 民法1 基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 民法2	
	民法	21回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 民法1 基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 民法2	
講義・ 演習	基礎マスター	不動産登記法	13回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 不動産登記法1 基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 不動産登記法2
		商法・商業登記法	18回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 商法・会社法 基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 商業登記法
		民訴等	6回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 民訴等
		供託・書士法		●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 供託・書士法
		憲法	5回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 憲法・刑法
		刑法	4回	●	●	●	●	
		記述／不登法	4回	●	●	●	●	基礎マスター テキスト 記述式 不動産登記法
		記述／商登法	4回	●	●	●	●	基礎マスター テキスト 記述式 商業登記法

※この表は次ページ以降に掲載されている表の見方を紹介するため、部分的に切り抜いたものです。

- ①「コース (本科生)」の下に、コース名が並んでいます。ご自身の申込まれたコースをご覧ください。
- ②そのコースの総回数
⇒ コース名の下に出ている回数が、コースの総回数です。
- ③そのコースに含まれる講義
⇒ 「●」印がついている欄の左に載っている「講義・科目」が、コースに含まれる講義です。
- ④そのコースに含まれる教材
⇒ 「●」印がついている欄の右に載っている「使用教材」が、コースに含まれる教材です。
(図の例:「入門総合本科生 2年本科生」の「基礎マスター 民法」)の右側に記載

※教材の訂正情報について

配付教材に訂正が判明した場合は、TAC WEB SCHOOLにて公開しています。ログイン後、学習サポート学習フォローの「正誤情報」メニューをクリックし、教材の訂正情報を確認してください。

※市販書籍のご購入、改訂予定情報、正誤情報、法改正情報について

TAC出版書籍販売サイト「Cyber Book Store (サイバーブックストア)」
【<https://bookstore.tac-school.co.jp/>】にてご利用いただけます。



入門総合本科生			コース (本科生)				使用教材	
●印のあるものが該当コースに含まれる「対象講義」(および配付教材)です。			2 年 本 科 生	20 カ 月 本 科 生	1.5 年 本 科 生	1 年 本 科 生	【※すべて内部教材。市販なし】 ・コース前半の「基礎マスター」とコース後半の「択一式対策講座【理論編】」では、択一式対策につき共通の教材を使用します。教材の名称が「基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト」となっているのはこのためです。	
	講義・科目	回数	234回	213回	213回	213回		
講義・演習	オリエンテーション	1回	●	●	●	●	(配付教材なし)	
	入門講義	8回	●	●	●	●	入門講義 テキスト	
	先行基礎マスター	民法	21回	●				基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 民法1
	基礎マスター	民法	21回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 民法2
		不動産登記法	13回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 不動産登記法1 基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 不動産登記法2
		商法・商業登記法	18回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 商法・会社法 基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 商業登記法
		民訴等	6回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 民訴等
		供託・書士法		●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 供託・書士法
		憲法	5回	●	●	●	●	基礎マスター・択一式対策講座【理論編】 テキスト 憲法・刑法
		刑法	4回	●	●	●	●	
		記述／不登法	4回	●	●	●	●	基礎マスター テキスト 記述式 不動産登記法
		記述／商登法	4回	●	●	●	●	基礎マスター テキスト 記述式 商業登記法
	択一式対策講座【理論編】	民法	18回	●	●	●	●	(基礎マスターの択一式対策と共通の教材)
		不動産登記法	15回	●	●	●	●	
		商法・商業登記法	17回	●	●	●	●	
民訴等		8回	●	●	●	●		
供託・書士法		4回	●	●	●	●		
憲法・刑法		4回	●	●	●	●		
択一式対策講座【実践編】	民法	7回	●	●	●	●	教材(一問一答編、5肢択一編) [計4冊]	
	不動産登記法	7回	●	●	●	●	教材(一問一答編、5肢択一編) [計4冊]	
	商法・商登法	7回	●	●	●	●	教材(一問一答編、5肢択一編) [計4冊]	
	民訴等	4回	●	●	●	●	教材(一問一答編、5肢択一編) [計3冊]	
	供託・書士法	4回	●	●	●	●	教材(一問一答編、5肢択一編) [計3冊]	
	憲法・刑法	4回	●	●	●	●	教材(一問一答編、5肢択一編) [計3冊]	
講義・演習	記述式対策講座	不動産登記法	13回	●	●	●	●	【理論編】テキスト
								【実践編】問題
								【実践編】答案用紙
								【実践編】解答解説
								【実践総合編】問題解答例
								【実践総合編】答案用紙
	商業登記法	13回	●	●	●	●	●	【理論編】テキスト
								【実践編】問題
								【実践編】答案用紙
								【実践編】解答解説
								【実践総合編】問題解答例
								【実践総合編】答案用紙
基礎演習	<自宅演習> 教材のみ／解説講義なし	●	●	●	●	「基礎演習①」(問題、解説、マークシート) 「基礎演習②」(問題、解説、マークシート)		
Web答練	<自宅演習> 教材のみ／解説講義なし	●	●	●	●	「Web答練①」(Web上での提供。冊子なし) 「Web答練②」(Web上での提供。冊子なし) 「Web答練③」(Web上での提供。冊子なし) 「Web答練④」(Web上での提供。冊子なし)		
模試	全国実力Check模試	試験	1回	●	●	●	●	全国実力Check模試 問題・解説(1回分)
		解説講義		●	●	●	●	(配付教材なし)
	全国公開模試	試験	3回	●	●	●	●	全国公開模試 問題・解説(3回分)
		解説講義		●	●	●	●	(配付教材なし)

データ等での提供教材一覧

教材名	学習サポート WEBSCHOOL	講義録
入門講義テキスト	●	●
基礎マスター&択一式対策講座【理論編】	●	●
基礎マスター 記述式テキスト	●	●
基礎マスター&択一式対策講座【実践編】	●	●

答練、模試、基礎演習、Web 答練の教材はいずれも対象外です

WEBSCHOOL 学習サポート

WEBSCHOOL 上のメニュー学習サポートの中の「教材」に掲載しています。

講義録

WEBSCHOOL 上で配信している講義と一緒に掲載している講義録の中に収録しています。

各教材の受け渡しは申込みいただいたコースに準拠します。

通学講座の方にはご登録校舎の窓口でお渡しします。会員証をご提示の上窓口でお受け取りください。

通信講座の方にはご登録された送付先にお送りします。通信メディア編「1.教材発送について」をご確認ください。

3 演習・答練について

演習や答練の実施は、種類によって異なります。添削・成績判定の有無もご確認ください。

1 演習・答練等の種類と内容

■実施テスト類一覧

	名称	回数	問題数	解答時間	答案添削	成績判定	入門総合
							本科生
演習・講義	①択一式対策講座 【実践編】	【自宅演習+講義】 回数・問題数は科目・回で異なる(教材に 予め掲載)		指定なし (目安:30分)	なし	なし	●
	②記述式対策講座 (実践編・実践総合編)	各科目 実践5回・実践総合2回 問題数は各回で異なる(教材に予め掲載)		講義内で講師が指定			●
	③基礎演習	2回	【自宅演習】 択一:各回25問	90分			●
	④Web答練	4回	【自宅演習】 択一:各回25問	90分			●
	⑤全国実力Check模試	1回	午前:択一35問 午後:択一35問+記述2問	午前2時間 午後3時間			●
	⑥全国公開模試	3回	午前:択一35問 午後:択一35問+記述2問	午前2時間 午後3時間			●

※ お申込みいただいたコースによって、受講対象となる演習・答練等が異なります。ご自身が受講対象かどうか、「② 講義・教材について」におけるコース別一覧にてご確認ください。

※ いずれの本科生にも自宅演習用「Web ミニテスト」「Web トレーニング」が付きます。

「Web ミニテスト」(※紙出力での提供はございません)

前回の基本講義で学習したところを次回の基本講義内でテストします。

例えば、民法②の講義の冒頭には、民法①のミニテストを行います。前回の講義の重要部分ですので、満点を目指しましょう。午前・午後の連続で講義が行われる場合、午前の講義の冒頭で前週の2回分のミニテストを実施いたします。したがって、講義時間が多少変更される場合がございます。予めご了承ください。

【掲載場所】→WEBSCHOOL 上のメニュー「学習サポート」の「Web ミニテスト」欄に掲載

「Web トレーニング」(※紙出力での提供はございません)

問題を「解く」感覚を養うための、「重要かつ基本的」な論点を厳選した実践演習用テストです。過去問から、重要かつ基本的な論点に厳選した問題(6,000問以上)を収録。

【掲載場所】→WEBSCHOOL 上のメニュー「学習サポート」の「Web ミニテスト」欄に掲載

「Web トレーニング」の具体的な提供開始日やご利用方法等については、2026年8月下旬に [TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」](#)内でご案内予定です。

【自宅で解く演習】

対象：①択一式対策講座【実践編】、③基礎演習、④Web 答練

- ・①③は教材に掲載された問題を、④はTAC WEB SCHOOLに掲載された問題をご自宅で解いていただきます（通学・通信同様）。
- ・③は、答案を提出すれば後日成績判定を行います。解説講義はございません。

【登録のクラスによって実施方法が異なる答練・模試】

対象：⑤全国実力Check 模試、⑥全国公開模試

- ・本試験に即した時間配分で、同じ数の問題を出題します。
- ・答案回収後に採点・添削を行い、成績判定後は成績表や添削済答案をWebで閲覧できます。
- ・答練の実施概要はP 11.～、模試の実施概要はP 17をご参照ください。

<⑤⑥（模試）の注意事項>

- ・「模試」を含むコースの方は、お申込み時点では、模試は「仮登録」の状態です。2028年1月下旬以降、「模試の受験番号発行手続」が必要となります。この手続をすることで、「通学」「通信」いずれのメディアの方も各会場・自宅で模試をご受験いただけます。

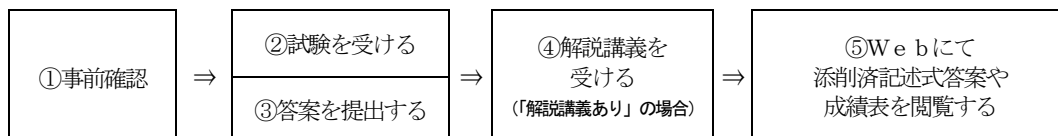
【答練・模試の出題範囲】（予定）

コース	回	択一式	記述式
		35問/回	2問/回
全国実力 Check 模試		総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	
第1回 全国公開模試		総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	
第2回 全国公開模試		総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	
第3回 全国公開模試		総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	

★「答練」・「演習」の受講について

1 「答練」「演習」の受講方法

(1) 受講の流れ



(2) 出題数・解答時間

答練・演習	実施方法	回	出題数		解答時間		解説講義 時間
			択一	記述	択一	記述	
基礎演習	自宅演習	各回	25問	—	90分	—	なし
Web答練	自宅演習	各回	25問	—	90分	—	なし

※基礎演習とWeb答練では解説講義はございません。

※解説講義時間はいずれも1回あたりの時間数です。

＜教材の保管・請求期間＞

答練を欠席した場合や教材に不備・不足・乱丁・落丁があった場合の請求可能期間

2028年7月31日まで ※以後は廃棄します。期日までにご請求ください。

2 答練受講と答案の提出

(1) 答練・演習を受ける

【通学】	基礎 演習	コース・受講形態により実施方法が異なります。上記、「1」「答練」「演習」の受講方法の「(2) 出題数・解答時間」をご確認ください。
【通信】		ご自宅へ問題等を発送します。日程表で問題発送日・答案提出締切日等を事前にご確認ください。

※Web 答練は、通学生・通信生ともに TAC WEB SCHOOL 上で問題を提供し、解答していただきます。問題の公開日と解答送信日は日程表にて事前にご確認ください。

《答案用紙の記入方法（記入見本はP 1 2および問題冊子裏面）》

		筆記具	必須記入事項
答練・演習共通	択一式答案 (マークシート)	BまたはHBの鉛筆	①答練番号／②誕生日(生年は不要)／③実施試験・回数／④会員番号／⑤受験日・受験地(通信生の受験地欄は「通信」)／⑥氏名・フリガナ
答練	記述式答案	黒色のボールペンまたは万年筆	①答練番号／②誕生日(生年は不要)／④会員番号／⑤受験地(通信生は「通信」)／⑥氏名

- ・指定の筆記具を用いて、答案に必要な事項を全てご記入ください。
[答練] 記述式答案解答時に、インクの消えるボールペンは使用できません。指定の筆記具以外のものを用いた場合、採点されませんのでご注意ください。
- ・「実施試験」欄の「答練」から該当する項目を1つだけ選んでマークしてください。
- ・**1箇所でも記入漏れがあると成績が正しく処理されず、成績表が出力されません。**
- ・必ず答案原本を提出してください（コピーでは添削・成績判定されません）。
- ・答案に余事記載（不要な記載）があった場合は、「不要な記載のある答案」として採点します。**不要な記載は減点の対象となります。**
- ・仮に白紙のまま提出される場合も、「必須記入事項」は全てご記入ください。
- ・[答練] 記述式答案に記載した内容を訂正する場合には、取消線を引いて削除し、修正事項を付近に記載してください。修正テープや修正ペンは使用できません。本試験と同様です。

《答案記入見本》

【マークシート（多肢択一式答案）記入見本】 ※マークシートの項目等は変更されることがございます。

①	②	③	④
司法書士講座 多肢択一式答案用紙			
厚生労働省指定通信教育			
⑤			
答練番号(6桁) 【模試: 受験番号】 2 4 0 0 0 3 0 0 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 5 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 7 7 7 7 7 7 8 8 8 8 8 8 9 9 9 9 9		誕生日 月 日 0 1 2 3 1 0 0 0 2 1 1 1 3 2 2 2 4 3 3 3 5 4 4 4 6 5 5 5 7 6 6 6 8 7 7 7 9 8 8 8	
実施試験 答練 総合力底上げ <input type="radio"/> 科目別全潰し <input type="radio"/> 合格力完成 <input checked="" type="radio"/> 模試 Check模試 午前 <input type="radio"/> Check模試 午後 <input type="radio"/> 公開模試 午前 <input type="radio"/> 公開模試 午後 <input type="radio"/> 奨学生 <input type="radio"/> 基礎演習 <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/>		回数 第1回 <input checked="" type="radio"/> 第2回 <input type="radio"/> 第3回 <input type="radio"/> 第4回 <input type="radio"/> 第5回 <input type="radio"/> 第6回 <input type="radio"/> 第7回 <input type="radio"/> 第8回 <input type="radio"/> 第9回 <input type="radio"/> 第10回 <input type="radio"/> 第11回 <input type="radio"/> 第12回 <input type="radio"/> (回数なし) <input type="radio"/>	
会員番号 (10桁) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9			
受験日 (西暦) 年 1 月 15 日		受験地 新宿 校	
フリガナ ミサキ タロウ (姓) (名)		氏名 三崎 太郎	
⑥			
注 意 事 項			
1 記入の際は必ず鉛筆(B又はHB)を使用すること。 2 「答練番号【模試: 受験番号】」、「誕生日」、「実施試験」、「回数」、「会員番号」、「受験日」、「受験地」、「フリガナ」、「氏名」は、配付した問題冊子裏面記載の記入例に従って正しく記入すること(模試は専用の受験番号が必要。答練番号で模試は受験できません)。 3 マークは記入例に倣い、枠内を深く塗りつぶすこと。 4 解答は、問題ごとに正しい答えと思う番号にマークすること。なお、正しい答えが2つ以上ある問題はないので、必ず1つの番号にマークすること。 5 マークを訂正する場合には、プラスチック消しゴムで完全に消してから、マークし直すこと。 6 答案用紙を汚したり、折り曲げたりしないこと。			
		マーク記入例 良い例 <input checked="" type="radio"/> 悪い例 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	

【記述式答案記入見本】

この欄に記載された解答は、採点されません。

合格力完成答練 第一回

氏名

三崎 太郎

⑥

⑤

①

④

②

受験地	新宿
答練番号(6桁)	2 4 0 0 0 3
会員番号(10桁)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
誕生日(2+2桁)	0 1 2 3
採点	

＜氏名欄以外の必須記入事項について＞

- ①答練番号記入欄
答練を含むコースを申し込まれた場合、答練専用の6桁の番号が会員証の右上に記載されています。
- ②誕生日記入欄
年度は不要です。誕生された月・日をご記入ください。
受講者様ご本人であることを確認するための必須情報です。
- ③種類・回数等記入欄（マークシートのみ）
実施試験の「種類」、試験の「回数」を記入する欄です。
種類、回数の情報を正しく記入されなかった場合、成績が正しく判定されません。
- ④会員番号記入欄
10桁の会員番号は、受講者様を特定し成績結果を正しく分析するための必須情報です。
- ⑤受験日・受験地
答練を受験した日付と校舎名をご記入ください。
- ⑥氏名・フリガナ
お名前だけ書き忘れる方が時折いらっしゃいます。特に記述式答案を2枚提出する際は、一方のみではなく**2枚とも必ずお名前**をご記入ください。

(3) 答案を提出する

《1》 答案提出方法

【通学】	会場答練/ 教室演習	試験時間終了とともに答案を係員へ提出してください。通学生の「振替受講」の方、通信生の「校舎受験」の方いずれも同様です。 時間内に提出された答案を「正規答案【※】」(期限内答案)として扱います。
	窓口受取	教室実施のない校舎では、窓口へ答案を提出してください。
【通信】		答案を期日までに郵送にて提出してください。期日までに到着した答案を「正規答案【※】」(期限内答案)として扱います。 答案提出時の郵送料はお客様のご負担となります。郵送方法などの詳細はP32をご参照ください。 [答練] 答案を別々に提出する場合(例: 商登法記述式のみ別送 等)は、分かるようメモ書きなどを添えてください。

【※】 便宜上、提出された答案は次のように分類しています。

「正規答案」: 提出期限内に提出された答案

「期限外答案」: 提出期限を過ぎてから提出された答案

《2》 答案提出締切日【通学メディア・通信メディア共通】

	答案提出日	分類	提出先	成績判定・添削
①	各回の「答案提出締切日」まで【※】	正規答案	通学: 校舎 (教室 or 窓口) 通信: 通信教育部 (郵送)	指定の期日・指定の時刻までに成績判定・添削
②	①~2028年6月20日提出分まで (必着)	期限外答案	通学: 校舎窓口 通信: 通信教育部 (郵送)	本試験の前までに、 <u>約2週間</u> で成績判定・添削
③	2028年6月21日~本試験前日まで (必着)			本試験日以降であれば成績判定・添削可【☆】
④	本試験日以降	成績判定・添削をお受けできません。		

【※】 答案提出締切日の詳細は、後日ご案内します(基礎演習: 2027年7月上旬予定/Web 答練: : 2027年7月上旬予定/答練: 2028年1月下旬予定)。なお「答案提出締切日」の目安は、通学メディアであれば答練実施日当日、通信メディアであれば教材発送の約2週間後です。

【☆】 原則として本試験日以降ですが、それより早く結果が出ることもございます。

※ [答練・模試] 記述式答案はデジタル方式にて添削を行いますので(記述式答案をデータ化して添削)、提出された答案原本はお返しできません。ご自身の答案の控えを残したい方には、答案提出前にデジタルカメラ等にて記述式答案の画像を保存しておくことをお勧めしています。なおコピー等での提出は認められませんので、答案原本をご提出ください。

(4) Webで添削済記述式答案や成績表を閲覧する

添削済記述式答案や成績表の閲覧には、TAC WEB SCHOOLのマイページ登録(TAC利用ガイド参照)が必要となります。必ずあらかじめご登録ください。



① Web掲載開始日

期日内に答案をご提出いただいた場合、成績判定結果がTAC WEB SCHOOLへ掲載されます。Web掲載開始日は、2027年7月以降にご案内させていただきます。

なお期日を過ぎてから答案を提出された場合、**答案がTACに到着してから添削完了まで2週間ほどお時間をいただきます。**

② 閲覧可能期間

閲覧可能期間は、会員証有効期限である **2028年7月31日まで** となります。

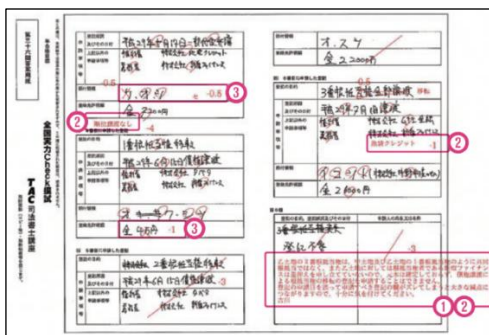
窓口での印刷等には一切ご対応できませんので、あらかじめご承知おきください。

答案はデジタル方式にて添削・成績判定を行いますので(答案をデータ化)、**提出された答案原本はお返しできません。** ご注意ください。

<添削済記述式答案> [答練・模試]

記述式答案を提出していただいた方が対象です。

※本試験同様「筆記可能線」が入っています。



<個人別成績表>

マークシート(多肢択一式答案)を提出していただいた方が対象です。

※画像はサンプルのため一部空欄になっています。

<総合成績表> [答練・模試]

答案を提出なさらなかった方も含めて全員の情報が閲覧できます。

※「基準点に達した受験者数」「有望合格点」「得点分布」「選択肢別正答率(受験者全体の正答率・基準点に達した受験者の正答率)」「成績優秀者」「記述式添削結果講評(不登法記述式・商登法記述式)」など、多角的に分析を行った様々な情報が掲載されています。

《閲覧方法》

- ① TAC WEB SCHOOL へログインしてください。
- ② 画面上部にある「学習記録」アイコンの「成績表」を選択してください。
- ③ 成績表一覧の中に、答練や演習の各回における成績結果が表示されます。閲覧したい項目を選択して、PDFを開いてください。

[答練] 不動産登記法 添削済記述式答案、商業登記法 添削済記述式答案、個人別成績表、総合成績表
[基礎演習] 個人別成績表

- ※ 閲覧可能期限（2028/7/31）を過ぎると、成績表や添削済答案はご覧いただけなくなります。
- ※ 期限内に答案を提出しているにも関わらず、期日以降も結果が閲覧できなかった場合には、「お問合せ」のアイコン（PC版は画面上部、スマホ版は画面下部）を選択してお問合せ先へご相談ください。

PC画面



スマホ画面



【手順1】

学習記録 内の 成績表
の項目を選択

【手順2】

ファイル名を選択

※見本画像の「科目別全潰し答練」の欄に項目が出てきます。該当項目を選択してPDFを開きます。



4 公開模試について

TACでは例年4月～6月に模試を実施いたします。全国規模で受験生が一斉に参加する最大規模の予行演習ですので、ぜひ活用してください。日程の詳細は2028年1月中旬以降にご案内する予定です。

模試を含む本科生・パックをお申込みいただいた方は、「全国実力 Check 模試」「全国公開模試」がコースに含まれております。なお、模試を含まない本科生・パックや単科講座をお申込みいただいた方は、別途オプション（別料金）にて模試をお申込みいただくことができます。

模試名称	回	出題数		解答時間	解説講義 ありコース
		択一式	記述式		
全国実力 Check 模試/ 全国公開模試	午前の部	午前科目 35 問	—	午前 2 時間	解説講義
	午後の部	午後科目 35 問	不登 1 問・商登 1 問	午後 3 時間	併せて 3 時間

《模試を含む本科生・パックをお申込みの方》「受験番号発行手続」

模試を含む本科生・パックをお申込みいただいた方は、模試を受けていただくために、模試専用の受験番号を発行するための「受験番号発行手続」が必要となります。

2028年1月中旬に「全国実力 Check 模試」「全国公開模試」の受験番号発行手続の期限（締切日）を告知いたします。必要書類を提出して、受験番号発行手続を行ってください。

通学メディアの方の場合、受験番号発行手続を行っていただきませんと、模試を受験することができませんのでご注意ください。

通信メディアの方の場合、受験番号発行手続を行っていただければ、模試を会場で受験することも可能です。

なお、各会場には定員がございます。定員になり次第会場は締め切られますので、ご希望の会場・日程でお受けいただくためにもお早めにお手続きをお済ませください。

■「受験番号発行手続」の要不要（詳細） ※模試を含むコースかどうかはP7・8参照

受講コース	模試の有無	受講コースの 学習メディア	「模試の 希望受験形態	受験番号発行手続の要不要
・模試を含む本科生 ・模試を含むパック	コースに 含まれている	通学 メディア	会場受験	受験番号発行手続が 必要
			自宅受験	
		通信 メディア	会場受験	不要
			自宅受験★	
・模試を含まない本科生 ・模試を含まないパック ・単科	コースに <u>含まれていない</u>	※模試の受講をご希望の際は、別途模試の申込（有料）が必要です。受験料等のご案内は2028年1月中旬以降となります。（注：受験番号発行手続は不要）		

★対象コースを「通信メディア」でお申込みの方は、お手続きがなければ自動的に自宅受験扱いとなります。

自宅受験扱いとなった場合、受験番号は自動的に発番されます。自宅受験の方の受験番号は、模試の教材発送時、梱包のラベルに自動的に記載されます。詳細は模試教材発送時にご案内いたします。

5 質問・相談について

学習上の疑問点や学習の進め方などの相談事項は、分からないままにせず、解決しておきましょう。学習メディア・受講コースによって、質問体制は以下のとおりご用意しております。

◎ ご質問内容に関するお願い

(1) 質問内容について

【ご質問の範囲】

ご質問は、**講義内容 および 講義で使用する教材に関するもの**(ご受講中の合格目標年度のコース)に限らせていただきます。

- ① 受講講座以外の教材についての質問には一切お答えできません。
(市販書籍、過去の教材、他の資格試験予備校の教材、他社刊行の問題集やテキスト)
- ② 当該試験の学習範囲を逸脱している質問には一切お答えできません。
(司法書士試験に関連のない法律、実務に関連する質問、他資格に関する質問等)
- ③ ご受講中のコースに含まれている科目のみご質問をお受けいたします。
- ④ お受けできない質問内容の場合、そのまま返却させていただくこととなります。あらかじめご了承ください。

(2) ご質問の締切日について

ご質問には、ご利用いただける期限がございます。詳細はP22をご確認ください。

(3) ご質問の際の注意事項

ご利用の際は以下の点にご留意ください。

- ① 質問内容は具体的にお願いします。「科目」「教材名」「ページ数」「行数」「項目」「具体的な疑問点」等を示してください。漠然とした内容ですと、適切に疑問点を解消することができません。
 - ② 「質問箇所や質問の主旨が明確でない」等の理由により回答が困難な場合、返却させていただくこともございます。その際は、疑問点を整理し明確化した上で、再度ご質問をお寄せください。
 - ③ ゴールデンウィークなど一部期間につきましては、通常より回答に若干お時間をいただくことがございます。予めご承知おきください。
- ※ 皆様からお寄せいただくご質問の中には、テキスト等に立ち返るとすぐ解決できるものもございます。「分からない」と思ったとき、まずは一度、ご自身で確認してみてください。ご自身の力で導き出した回答は、決して忘れないものです。

6 各種フォロー・サービス対応表

各種フォロー・サービスの利用は、お申込みのコース、学習メディアに応じて下表の通りとなります。

コースの形態	本科生	
	通信メディア	
学習メディア	オンラインライブ通信	Web通信
ビデオブース振替フォロー	—	—
校舎間自由視聴制度	—	—
ビデオブース重複フォロー	—	—
Webフォロー	—	—
追っかけフォロー	—	—
スクーリング (※1)	—	—
答練校舎受験 (答練教室受講)	●	●
学習サポート	●	●
質問メール	上限 50 回	上限 50 回
よくある質問	●	●
講師からのメッセージ	●	●
Web 答練	●	●
Web ミニテスト	●	●
Web トレーニング	●	●
自習室	●	●
オンラインフォロー	●	●
講師からのメッセージ	●	●
学習の指針	●	●

「●」: 標準装備

「◎」: 有料サービス

「—」: 該当なし

《各種フォロー・サービスについて》

ビデオブース振替フォロー	ご都合により出席できない場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です〔要予約・1講義500円(税込)〕。※「山本オートマチック」のみ
校舎間自由視聴制度	申込登録校舎以外でビデオブース視聴ができる制度です〔要予約〕。なお、講座を開講している校舎に限ります。※「山本オートマチック」のみ
ビデオブース重複フォロー	もう一度受講したい場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です〔要予約・1講義500円(税込)〕。なお、講座の指定した講義に限ります。 ※「山本オートマチック」のみ
Webフォロー	教室講義を収録した動画をWebにて視聴できます。
スクーリング	TAC校舎で開講している教室講座へ指定の回数出席できる制度です。(※1)
答練校舎受験(答練教室受講)	TAC校舎で教室答練を実施している会場へ出席できる制度です。回数制限はありません。定員に達していない会場に限ります。(※2)
学習サポート (質問メール等)	インターネットを用いたフォロー制度の総称で、「質問メール」「よくある質問」「正誤情報」等のメニューから構成されています。
学習サポート 講師からのメッセージ	講師から受講生の皆様に向けたメッセージをお届けします。モチベーション維持につながる内容や、ワンポイントレッスン等をお伝えしていく予定です。
学習サポート Web 答練	問題の提供⇒解答⇒成績表閲覧まで、全てをネットでご提供する答練です。問題は過去問からの出典で、基本レベルの頻出論点をセレクトします。
学習サポート Web ミニテスト	各回の復習用テストを毎回実施します。全問正解を目指し、前回の講義で習得した知識を確実に自分のものとしてください。
学習サポート Web トレーニング	「本科生」限定の学習サポートツールです。司法書士試験の過去問を一問一答形式で収録。
自習室	「本科生」・「バック生」に限り、受講期間中に限り空いている教室を自習用としてご利用いただける制度です。 ※ご利用の際には諸条件がございます。詳細は「TAC利用ガイド」をご参照ください。
オンラインフォロー	「本科生」限定のフォロー制度です。P24をご参照ください。
学習の指針	各回の講義において重要な論点や事項についてまとめた指針です。講義とあわせて参照いただくことで効率的に学習を進めることができます。

注意事項

※1 スクーリングでご利用いただける回数は、お申込みいただいたコースにより異なります。

※2 答練校舎受験(答練教室受講)は、教室答練を実施している校舎に限ります。

【答練に関する諸注意】

- ・校舎によっては教室答練を実施せず、窓口での教材受取・窓口での答案提出としているところもございます。また、教室答練実施校舎であっても教室日程にご参加いただけない場合には、窓口へ答案をご提出ください。
- ・各種「振替受講」は、定員に達していない校舎に限ります。また、**提携校は振替の対象外**です。
- ・答練の「試験」部分は、**重複出席の対象外**です。
- ・感染症等の影響により、受験生の皆様の安全・安心のため、教室での答練受講をご遠慮いただく場合もございます。あらかじめご了承ください。

各種フォロー・サービスの詳細は、当受講ガイドの各種制度の該当ページをご参照ください。

7 各種サービス提供期限一覧

【司法書士講座】各種サービス提供期限一覧 [2028年目標]

各種サービスの提供は特にご案内のない場合、会員証有効期限までとなっています。

会員証有効期限 2028/7/31 (会員証記載)

サービス内容	期限	詳細
通学メディアの教材受け渡し請求期限	2028/7/31	期限日直前の場合、在庫状況次第では、請求当日のお渡しに難しい場合がございます。
ビデオブース(フォロー)視聴期限	2028/7/31	ビデオブースの「予約」は、2028/7/30までに終わってください。※「山本オートマチック」のみ
通信メディアの教材問い合わせ期限	2028/7/31	教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせは期限内に行ってください。
講義動画利用期限	2028/7/31	期限後は、講義は視聴できません。※TAC WEB SCHOOL ログイン不可。
デジタル教材期限	2028/7/31	期限後は、ダウンロードできません。※期限内に端末等にダウンロードしたデータは利用可能です。
学習サポート利用期限	2028/7/31	期限後は、利用・閲覧できません。※TAC WEB SCHOOL ログイン不可
質問メール提出期限	① 2028/6/20 まで着	左記期日まで到着分は、本試験前に回答可能です。
	② 2028/6/21~7/31 着	左記期間到着分は原則、本試験日以降に回答します。※試験日前に間に合うこともあります。
質問メール回答閲覧期限	2028/7/31	期限後は、閲覧できません。※TAC WEB SCHOOL ログイン不可 回答を保存しておきたい場合は、回答ページの印刷や PDF 保存などを行ってください。
自習室利用期限	2028/7/31	期限後は、利用できません。
Web トレーニング利用期限	2028/7/31	期限後は、利用できません。※TAC WEB SCHOOL ログイン不可
Web 答練利用期限	2028/7/31	期限後は、利用できません。※TAC WEB SCHOOL ログイン不可
【答練・模試・演習】 成績判定・答案添削 対応期限	① 各答案の提出期限	指定の期日・指定の時刻(日程表参照)までに成績判定・添削を行います。※TAC WEB SCHOOL 上に掲載
	② 2028/6/20 まで着	本試験前までに、約2週間で成績判定・添削を行います。
	③ 2028/6/21~ 本試験前日着	成績判定・添削は原則、本試験日以降となります。※試験日前に間に合うこともあります。
【答練・模試・演習】 成績表・添削済答案 閲覧期限	2028/7/31	期限後は、閲覧できません。※TAC WEB SCHOOL ログイン不可 結果を保存しておきたい場合は、PDF をダウンロードしてください。

注1:期限直前にいただいたご質問は、(確認を要する内容の場合、)回答が TAC WEB SCHOOL ログイン期限の終了後となる可能性もございます。ログインできなくなると質問メールの「回答」を閲覧できなくなることから、期限直前にいただいたご質問への回答は、郵送での返却となることとさせていただきます。

注2:通信メディア受講で教育訓練給付制度をご利用の場合、修了日までに提出対象課題の8割以上を提出してください。詳細はP25「教育訓練給付制度について」をご参照ください。

【補足1】「本試験」とは、2028年7月の司法書士筆記本試験を指します。

【補足2】「有効期限」と「受講期間」:会員証記載の「有効期限」は、申込規約に記載された「受講期間」とは異なります。「受講期間」の詳細につきましては、「TAC利用ガイド」をご参照ください。

8 その他

1 受講に関するFAQ【通学・通信共通】

Q. 先生が講義の中で紹介された書籍は、TACで購入できますか？

A. TAC出版あるいは早稲田経営出版の書籍であれば、購入できます。
TAC出版書籍販売サイトCyber Book Store (サイバーブックストア) をご利用いただければ、お得な価格で気軽にお求めいただけます。セット販売による割引もごございます。<<https://bookstore.tac-school.co.jp/>>



Q. テキストをなくしてしまいました。もう一度もらえますか？

A. 紛失の場合、実費で購入していただくこととなります。市販教材 (例:『山本浩司のオートマシステム』シリーズ等) は、[TAC校舎](#)受付または書店等でお買い求めいただくか、[TAC出版書籍販売サイトCyber Book Store](#)にてお求めください。なお、内部教材 (例:入門総合本科生の教材や答練の教材等) は「再販売」のための再販価格をご用意しております。詳細は各校受付、もしくは通信カスタマーセンター (「お問合せ先一覧」参照) にお問合せください。

Q. 受講に関する一般的な問い合わせの電話は、何時までできますか？

A. 内容によって問合せ先が異なり、時間帯も異なりますので、受講ガイド最後の「お問合せ先一覧」をご参照ください。

Q. 手元にある六法に載っていない法令があるのですが、調べる方法がありますか？

A. たとえばインターネットを使って検索することができます。

例) 法令データ提供システム<<https://elaws.e-gov.go.jp/>>

: 電子政府の総合窓口 (e-Gov) で提供しているサービスの一環。法令 (法律、省令、規則など) をキーワードから検索できるシステム。



Q. 答練において、添削済答案や成績表を出力紙で受け取る方法がありますか？

A. 答練の添削済記述式答案や成績表は、Webでの閲覧のみとなります。出力紙でのお渡しはございません。

添削済記述式答案や成績表を閲覧していただく際には、TAC WEB SCHOOL へのマイページ登録が必要となります。あらかじめ、マイページ登録を行ってください。

マイページ登録がお済みであれば、スマートフォン・タブレット端末等でも閲覧していただくことができます。閲覧期限は2028年7月31日です。

なお、添削済記述式答案や成績表のPDFを保存しておきたい方は、PC (パソコン) などへダウンロードしていただくことができます。

Q. 今後オプションで、追加の答練などを申込みたいのですが、割引制度はありますか？

A. 「入門総合本科生」や「山本オートマチック (初学者対象コース) 本科生」をお申込みいただいている方であれば、「[入門本科生割引](#)」をご利用いただけます。通常より受講料が10%割引になります。他にも答練パック関連の特別割引などを実施予定です。

2 本科生限定！「オンラインフォロー」で学習をサポート

皆様のご自宅等でもスムーズに学習を継続できるよう、専任講師がオンライン上で一人ひとりをきめ細かく継続的にサポートします。

初めての学習で不安な方、忙しくて学習計画が乱れがちな方も、安心して学習を進めることができます。



【実施期間】 対象コースの受講開始月から受講終了期限 [2028年7月31日(月)] まで

【対象コース・オンラインフォロー専任講師】

2028年合格目標「入門総合本科生」
 <p>中山 慶一 講師</p>

【実施例】

項目 (予定)	内容概略	時期 (予定)
開講オリエンテーション	Web 会議システム。要予約。質問回答コーナーあり。 どう受講を進めていくか、学習初期段階で適切な学習計画の方針を立てていきます。	受講開始月 もしくはその前後
ホームルーム	Web 会議システム。1 回 30 分 (予定)。要予約。質問回答コーナーあり。 学習や実務に関する様々なテーマを各回で取り上げ、「楽しく学ぶ」「学び続ける」を支援します。	月 1 回程度 定期的実施予定
個別相談	Web 会議システム。1 回 25 分 (予定)。要予約。 学習上の悩みや学習計画の立て方をご相談いただき、不安を取り除くお手伝いをします。	定期的実施予定

「オンラインホームルーム」「オンライン個別相談」の具体的な実施日程、事前の予約(登録)方法や当日の参加方法については、[TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」内](#)でその都度ご案内します。なお「ホームルーム」の場合、メールでも通知を行います(注：TAC WEB SCHOOL マイページ登録時に「メール受信」を許可された方に限る)。

【通学メディア】 ビデオブース講座編

(山本オートマチックのみ)

- ・ TAC提携校での各種サービス等は、TAC直営校と異なる場合がございます。
詳しくは各TAC提携校へお問い合わせください。
- ・ Webフォローをご利用の際は、TAC WEB SCHOOL へログインして「よくある質問」や「ヘルプ」をご覧ください。か、「TAC利用ガイド」(「通信メディア編」の「2」TAC WEB SCHOOL 利用方法)をご参照ください。
- ・ 「通学メディア・通信メディア共通編」(P3～)もご覧ください。
- ・ 「本試験」とは、2028年7月の司法書士筆記本試験を指します。

1

答練等の受講、答案の採点および成績発表について

種類		試験(解答)場所	教材受取	答案提出	解説講義	成績結果
答練	教室答練 実施校舎	教室	教室配付	教室で 係員へ提出	ビデオ ブース	Webで 閲覧
	教室答練の 実施のない校舎	自習室 等	窓口にて受取	窓口へ提出		
演習	各校	ビデオブース (山本オートマのみ)	窓口にて受取	窓口へ提出		

※演習の解説講義の有無は、お申込みいただいたコースによって異なります（P 1 1 参照）。

1. 答練等の受講、答案の提出について

受講に際しては、以下いずれかの方法で問題を解き、その後、解説講義をご視聴ください。

- ①教室で受講（解答）、答案はその場で提出
- ②自習室で時間を計って受講（解答）、答案は窓口へ提出

【注意点】

- ・答練は原則として教室で受けてください。ご登録校舎以外の答練会場にも、出席できます。一部の答練は、自習室で解答し、窓口へ答案を提出していただきます。なお教室での受講が難しい場合、例外として自習室で解答してください。
- ・ビデオブース内での解答はご遠慮ください（注：答練の試験時間は1回あたり約3時間です）。
- ・演習は、窓口等で教材を受け取り、ビデオブースもしくは自習室で解答して窓口へ答案を提出してください。
- ・解説講義はビデオブースもしくはWebフォローにてご視聴ください。

2. 答案の提出期限、添削済記述式答案・成績表の閲覧可能期間について

(1) 答案の提出期限について

各回につき提出期限あり

- ・提出期限の詳細はP 2 2 「**7**各種サービス提供期限一覧」をご確認ください。
- ・期日を過ぎた場合の答案提出については、P 8 「**3**演習・答練について」をご確認ください。
- ・択一式答案は成績判定を行うため、記述式答案はデジタル方式で添削を行うため（記述式答案をデータ化して添削）、提出された答案原本はお返しできません。ご自身の答案の控えを残したい方には、答案提出前にデジタルカメラ等にて記述式答案の画像を保存しておくことをお勧めしています。なおコピー等での提出は認められませんので、答案原本をご提出ください。

(2) 添削済記述式答案・成績表の閲覧可能期間について

掲載開始日～2028年7月31日（月）まで

【掲載開始日】 「掲載開始日」以降、成績結果（添削済記述式答案・成績表）をWebに掲載します。掲載開始日の詳細は2028年1月下旬以降、TAC WEB SCHOOL 等でご案内いたします。

【閲覧期限】 「閲覧期限」は上述のとおり2028年7月31日です。期限を過ぎるとTAC WEB SCHOOL へのログインができなくなり、成績結果及び添削済記述式答案等を閲覧できなくなりますので、ご注意ください。

2 答練・演習の教室振替について

1. 答練 <答練の試験時間>

- ・答練等は、本試験形式に近いアウトプットの練習機会であり、ビデオブース講座（山本オートマチックのみ）の方も原則として教室で受けていただく（教室振替）カリキュラムとなっております。

ただし、答練を教室で実施していない校舎の場合、窓口にて教材を受け取り、窓口へ答案を提出していただく流れとなりますのでご注意ください。

- ・答練の試験時間は、ご登録以外の校舎に振り替えて受講することが可能です。ただし、振替先校舎が定員に達している場合や、提携校の場合、振替受講をご利用いただけません。

振替で他の校舎をご利用いただく際は、当日会員証をお持ちください。

2. 演習（「基礎演習」など）※解説ありは、山本オートマチック 20 ヶ月・1.5 年・1 年のみ

- ・解説講義ありの場合：教材は原則として受講校舎の窓口で個別に受け取り、ビデオブース講座の方はビデオブースもしくは自習室で受講
- ・解説講義なしの場合：教材配付のみ

【答練及び演習 「振替受講」・「重複受講」】

●：対象 ◎：有料（500 円/回） —：対象外

学習 メディア	講義	区分	振替受講		重複受講
			各校舎 教室振替	各校舎 ビデオブース	各校舎 ビデオブース
ビデオブース 講座	答練	試験	●	—	—
		解説講義	—	●	◎（500 円/回）
	演習	解説講義ありの場合	—	●	◎（500 円/回）
		解説講義なしの場合 （教材配付のみ）	—	—	—

（注）教材の二重渡しはできません。振替・重複受講なさる場合は答練・演習の教材をお持ちください。

なお答練の試験時間は重複受講の対象外です。

【補足：模試について】

- ・模試は「振替」ではなく「受験番号発行手続」（P 17 参照）により各会場を選択することができます。
- ・模試の試験時間は重複受講の対象外です。

3 もう一度講義を受講したい場合

重複フォロー方法	サービスの名称	サービスの内容
1. 視聴した講義をビデオブースで重複して受講する	ビデオブース 重複フォロー (有料)	対象校舎のビデオルーム内で、講義を視聴できます。[要予約、有料¥500(税込)] 詳細は各校舎にお問い合わせください。
2. ご自身のパソコン(PC)やスマートフォン・タブレット端末でWeb通信を受講する	Webフォロー (標準装備)	Web通信講座の講義をご自身の端末で視聴できます。

◆ビデオブース重複フォロー（山本オートマチックのみ）

講義をもう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。

- ・事前予約が必要です。予約方法などの詳細はTAC WEB SCHOOLの「よくある質問」や「ヘルプ」、もしくは「TAC利用ガイド」をご参照ください。
- ・一回あたり500円（税込）の利用料金がかかります。
- ・講義の種類等によっては利用できない場合がございます。
- ・ビデオブースの利用方法等は各校舎により異なります。詳細は各校受付にお問い合わせください。
- ・教材の二重渡しはできませんので、重複受講の際は教材をお持ちください。
- ・答練解説講義の重複受講は可能ですが、答案の二重提出はできません。

◆Webフォロー（「入門総合本科生」Web通信、山本オートマチック）

もう一度受講したい講義を、インターネットを利用して重複受講することができます。

- ・利用方法などの詳細はTAC WEB SCHOOLの「よくある質問」や「ヘルプ」、もしくは「TAC利用ガイド」をご参照ください。
- ・対象コースに含まれる全ての講義・解説講義部分が対象です。
- ・回数制限はございません。
- ・Webフォローは標準装備されています（無料）。
- ・Webフォローをご利用いただく場合は、必ず動作環境および、無料デモ体験版の動作をご確認ください。

<https://portal.tac-school.co.jp/>



通信メディア編

【Web通信講座・DVD通信講座】

(DVD 通信講座は「山本オートマチック」のみ)

- ・ TAC提携校での各種サービス等は、TAC直営校と異なる場合がございます。
詳しくは各TAC提携校へお問い合わせください。
- ・ Web動画視聴をご利用の際は、TAC WEB SCHOOL へログインして「よくある質問」や「ヘルプ」をご覧ください。か、「TAC利用ガイド」(「通信メディア編」の「2」TAC WEB SCHOOL 利用方法)をご参照ください。
- ・ 「通学メディア・通信メディア共通編」(P3～)もご覧ください。
- ・ 「本試験」とは、2028年7月の司法書士筆記本試験を指します。

1 教材発送について

1. 教材等の到着日

日程表記載の教材発送日は、TACから出荷する日付です。受講生の皆様のご自宅への到着は、地域によって異なりますが、目安としてTAC発送日の1日～4日後となります。

お届けの際にご不在の場合は、「不在連絡票」が入れられますので、ご確認の上、教材をお受取りください。

なお、初回発送日以降に申し込まれた方には、経過分をまとめて発送いたします。

※通信講座の受講生に向けた、出荷荷物番号が確認できるサービスもご用意しております。

TAC WEB SCHOOLの「よくある質問」や「ヘルプ」をご確認ください。

2. 教材等の確認

毎回「送付明細表」を添付しておりますので、教材等がお手元に届きましたら、まずは内容のご確認をお願いします。

※明細に記載された教材コードは、1刷時点でのものです。教材の増刷等に伴い、下2桁が変更されることがございます。

3. 教材発送に関するお問い合わせ

教材の発送漏れ、教材の乱丁・落丁等がありましたら、お手数ですが発送日より1ヵ月以内に送付明細表へ記載の「お問合せ先」までご連絡ください。

なお、会員証記載の有効期限を過ぎた後の請求には応じられませんので、予めご了承ください。

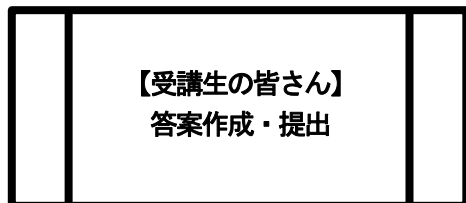
※「教材発送に関するお問い合わせ」「TAC WEB SCHOOLの操作に関するお問い合わせ」は「受講ガイド」巻末の「お問合せ先」からお問い合わせください。お問い合わせの内容により、電話番号・曜日・時間帯およびメールアドレスが異なります。

2 答案添削の流れ

1. 添削システム



送付日程にしたがって問題および解答解説が送付されます。

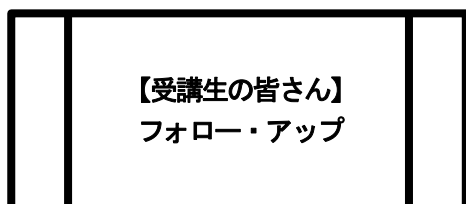
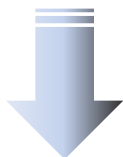


計画的に学習し、必ず答案を提出しましょう。
※最終提出締切日（通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」参照）を過ぎますと、採点は行いませんので厳守してください。



提出された答案は、採点して返却します。

- 答案返却までの目安は、TAC到着後、2～3週間です。
- マークシート答案は成績表をTAC WEB SCHOOLのマイページより確認できます。
- 添削済答案はTAC WEB SCHOOLのマイページより確認できます。



お手元に届いた答案と解答・解説等で、フォロー・アップをしっかりと行ってください。

2. 答案提出上の注意

提出された答案原本は返却されませんので、ご注意ください。成績表や添削済答案は、いずれもTAC WEB SCHOOLの「成績表」の項目内に掲載されます。

3. 答案作成上の注意

問題冊子の表紙の注意事項をご確認いただき、以下の点に注意して作成してください。

(1) 記述式答案

- ① 記述式答案は、黒色のボールペンまたは万年筆で作成してください。他の筆記具を用いた場合には採点されません。訂正する場合には、訂正箇所に取り消し線を引いて、訂正事項をその脇に正しく記載してください。修正テープ等は一切使用禁止です。
- ② 会員番号・氏名等の記入漏れがあった場合、添削済答案が正しく表示されないことがございます。ご記入には十分ご注意ください。

(2) マークシート答案

- ① マークシート答案の作成は、必ずBまたはHBの鉛筆で解答してください。それ以外の筆記用具（ボールペンや万年筆、色鉛筆、インクの消えるボールペンなど）で解答されているものは採点処理できません。
- ② 答練番号・会員番号・氏名・受験地等の記入漏れや記入ミス・マークミスがあった場合、成績表が正しく表示されないことがございます。ご記入には十分ご注意ください。

4. 答案最終提出締切日

各種答練・演習には最終提出締切日がございます。通学メディア・通信メディア共通編「7各種サービス提供期限一覧」をご確認ください。

※一般教育訓練給付制度をご利用の方は、ご自身の修了日が提出の最終締切日となります。

5. 答案郵送の方法

教材送付時に同封されている専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。

専用の封筒がお手元ない場合には、市販の封筒でも構いません。

下記送付先を明記してください。その際は、表に答案在中と赤書してください。

〒 101-8383 東京都千代田区神田三崎町 3-2-18
T A C通信教育部 行

6. お問い合わせ

通信生答案の提出状況確認に関するお問い合わせ先（公開模試を除く）

03-5276-8534

月～金 10:00～17:00

※土日祝日休業

3 学習サポート

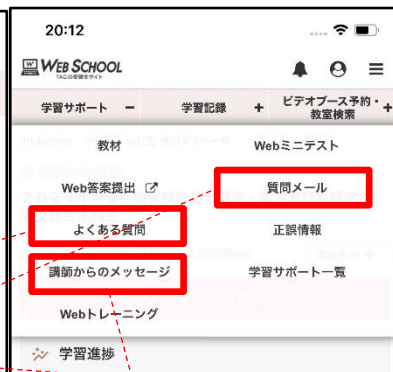
TAC WEB SCHOOL では様々な学習サポート機能で、受講生と講師による双方向のコミュニケーション学習を可能にします。メールで疑問点を質問できる「質問メール」、学習上よくある質問をデータベース化した「よくある質問」、学習のポイントや応援メッセージが掲載される「講師からのメッセージ」など、フォロー体制は万全です。

※お申込みいただいている講座・コースにより、ご利用いただける機能は異なります。

[パソコン画面]



[スマートフォン画面]



◆よくある質問

疑問点や不明点があったら、まずは「よくある質問」をご覧ください。一般的に多い質問や他の方がすでに質問した事項をデータベースに集めてありますので、疑問に思う項目を探すことができます。

◆質問メール

学習上の疑問点など質問したい場合、いつでもメールで質問が出来ます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。講師またはスタッフがわかりやすく丁寧にお答えします。
※回答もマイページ上でご確認いただけます。

◆講師からのメッセージ

講師から学習に関するポイントや本試験時の心構えなど、様々なメッセージが届けられます。講師からの熱いアドバイスやメッセージに学習のモチベーションが上がること間違いなしです。

1. ご利用方法

学習サポート機能はTAC WEB SCHOOLのマイページよりご利用いただけます。マイページ登録をまだ行われていない場合は、[<http://portal.tac-school.co.jp>]にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

2. 注意事項

TACでは学習サポート機能の操作方法につきましてサポートしております（お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください）が、それ以外の内容（パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等）につきましてはサポートいたしかねますので、直接メーカーやプロバイダーにお問い合わせください。

TACでは「学習サポート」操作方法のサポートは行っておりますが、それ以外の内容（パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等）につきましてはサポートいたしかねますので、直接メーカーやプロバイダーへお問い合わせください。

4 スクーリング

当講座につきましては、スクーリングはございません。

オリエンテーション編

1 六法・過去問集について

六法や過去問集は、ご自身で使いやすいものを、必要に応じてご用意ください。以下、代表的なものをいくつか紹介いたします。

【1】司法書士受験に適した六法

	書名	出版社
①	『模範六法』	三省堂
②	『詳細登記六法』	きんざい
③	『判例六法 Professional』	有斐閣

① 『模範六法』

司法書士試験界だけでなく、裁判所や法務局などを含め、実務界でも広く愛用される最もスタンダードな六法。必要となる法令をほぼ収録。【山本浩司講師使用】

② 『詳細登記六法』

登記実務用に編集された六法。必要な法令（規則や準則も含む）・判例・先例等がすべて掲載されており、別冊で先例集も付くなど情報量が豊富。【姫野寛之講師使用】

③ 『判例六法 Professional』

法令は黒・判例は青で表示するなど、凝ったつくりと洗練されたデザインが好評。①と同サイズだが中身は2分冊。不動産登記事務取扱手続準則は収録されていない

■e-Gov ポータル

e-Gov は、各府省がインターネットを通じて提供する行政情報の総合的な検索・案内サービスのポータルサイトです。このポータルサイトを使えば、無料で法令検索ができます。

※出典：e-Gov ポータル

(<https://www.e-gov.go.jp>)

上記以外でも良いのですが、判例は司法書士試験には不可欠なものです。判例とその要旨が収録されている六法をご用意いただくことをお勧めします。

どの六法も一般的な書店で取り扱われていますので、長い期間使い続けるためにご自身がより「使いやすい」と感じられるものを選んでください。

【2】司法書士試験の過去問集

過去問はテキストや復習用教材にもいくつか掲載されていますが、あくまで重要なものに絞った抜粋版です。より多数の過去問題を掲載した「過去問集」を併用することをお薦めします。

	書名 (いずれも早稲田経営出版刊)	編著	巻数
①	『パーフェクト過去問題集』シリーズ	Wセミナー/司法書士講座	全12巻
②	『オートマ過去問』シリーズ	オートマ実行委員会	全11巻

①『パーフェクト過去問題集』シリーズ

司法書士受験生におなじみの「定番」過去問集。

★初学者の方から中上級者の方まで、全受験生にお薦め。

- ・択一式全10巻、記述式全2巻から成る。
- ・本試験と同じ「5肢択一」形式。「どんな肢が5つ組み合わせて出題されたのか」等、「肢別問題」では分からない、本試験の現実を体感できる。
- ・体系、テーマに分けて掲載。復習したい分野に沿って解くことができる。
- ・重要度の高い問題は解法のツボ「ウラ解き！」を掲載。出題者の意図、問題を解く上での鍵、正解不正解を分けるポイント等をチェックできる。



②『オートマ過去問』シリーズ

掲載する分量を絞り込み厳選した、「オートマ」シリーズの過去問集。

★「オートマ」シリーズをテキストとして使用している初学者の方にお薦め。

- ・択一式で全9巻、記述式(解法術)で2巻の合計11巻。
- ・昭和、平成にこだわらず、重要過去問だけを山本浩司講師がセレクト。
- ・択一式は肢別にばらした肢別過去問が中心。章や節の末尾には総合問題も掲載。
- ・「条文」「判例」「重要先例」「基本」「頻出」「応用」「ひっかけ」「One Point」といった多様なアイコンを用い、何の知識が不足しているかひと目で分かる。
- ・核となる基本問題に対し、一緒に考えるべき「セット問題」や比較しながら覚えるべき「比較問題」を載せ、1つの論点から知識が広がる構成。

